

MONICA ARAYA

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Transport lead at “climate champions” initiative of United Nations
- Co-founder, Costa Rica Limpia
- Co-Founder, Electric Mobility Association



Topics

- Climate Change
- Environment
- Smart Cities
- Sustainability
- Women

コスタリカ生まれのモニカ・アラヤは、ラテンアメリカを中心に20年以上持続可能性の問題に取り組んできました。彼女は、再生可能エネルギーと電気モビリティの促進に専念する市民戦略グループであるコスタリカ リンピアを共同設立し、電気自動車について消費者を教育することに専念するラテンアメリカ初の電気モビリティ プラットフォームの1つである Movilidad electrica 組織を立ち上げました。彼女はコスタリカの電動モビリティ協会の創設メンバーであり、理事会の副会長を務めています。

化石のないコスタリカについての彼女の TED トークは 100 万回視聴され、30 か国語に翻訳されました。2017 年、彼女は TED と BMW の Next Visionaries のメンターを務めました。2016 年 12 月、彼女は、Homeward Bound による毎年恒例の女性リーダーシップイニシアチブである、世界最大規模の全員女性による南極遠征にラテンアメリカ人として初めて参加しました。フランス外務省は2014年に彼女を「未来の人物」に指名した。

モニカ・アラヤは、ラテンアメリカに焦点を当てた気候政治に関する広範な研究を行っています。パリCOP21へ向かう途中、彼女は気候変動対策を支持する新たな声を促進するために www.nivela.org を立ち上げました。彼女は、2009 年からロンドンの E3G で上級政策顧問を務め、2016 年からはケンブリッジ持続可能性リーダーシップ研究所の上級アソシエイトを務めています。国際気候交渉ではコスタリカの交渉官を務めました。彼女

は、OECD、WRI、ODI、NREL、ECF、ClimateWorks、CDKN、INCAE ビジネススクール、エスタド デラ ナシオン - コスタリカ、国連を含む多くの組織の独立コンサルタントを務めています。

最近、モニカ・アラヤは気候チャンピオンズチームに加わりCOP26のハイレベル気候行動チャンピオンと協力して、ゼロエミッションモビリティの普及促進を目指す交通キャンペーンを主導しました。彼女はラテンアメリカ、ヨーロッパ、米国に住み、働き、政府、ビジネス、慈善活動のリーダーたちと協力して脱炭素化戦略を提唱し、指導してきました。これは、共通のビジョンに基づいて、多様な利害関係者の連合を作り、支援することを意味します。

モニカは 70 冊の出版物を執筆しており、人前での講演にも積極的に取り組んでいます。ラテンアメリカのエネルギーと気候政治に関するメディアコメンテーターとして頻りに活躍する彼女の洞察は、TIME誌、フィナンシャル・タイムズ紙、ナショナル・ジオグラフィック誌、エル・パイス紙、レプブリカ紙、ガーディアン紙などの地元、地域、国際メディアで取り上げられています。

彼女は、UNEP 排出ギャップ報告書 2012-2017 の運営委員会メンバーでした。彼女は、ラテンアメリカおよびカリブ海における低排出開発戦略プラットフォームの共同議長を務めました。2019年、彼女はコスタリカで電動モビリティを推進した役割が評価され、「クルセイダー・オブ・ザ・イヤー」に選ばれたBMW と TED は、モビリティの未来を探る取り組み「Next Visionaries」のメンターと

して彼女を任命しました。

モニカ・アラヤはイェール大学で環境管理の博士号を取得しており、その前には同じくイェール大学で修士号を取得し、コスタリカの UNA で経済政策の修士号を取得しています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988